

内部用アクリルエマルション樹脂塗り床材

スイセイユカトップ

作業性

速乾

美装

防塵

安全性



高光沢で美しい仕上がりの水性艶有防塵塗り床材です。

特長

- 水性1液で、ローラー、刷毛で容易に塗装することができます。
- 水性のため、溶剤臭や引火性がなく、人体と環境に優しい塗り床材です。
- 厚生労働省「室内濃度指針値」対象13物質および文部科学省「教室等の環境に係る学校環境衛生基準」対象揮発性有機化合物6物質を配合していません。
- 鉛・クロムフリー、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を満たしています。

用途

- 機械工場・倉庫・作業場・機械室
- 学校・病院・事務所・店舗・内部階段・廊下・食堂など

商品構成（塗装面積）

荷姿	15kg、4kg
塗装面積	50 m ² /缶（2回塗り）
常備色	レンガ、モスグレー、サンドベージュ、 グラスグリーン、フレッシュグリーン、 ライン用白、ライン用黄色
下塗り塗料	湿潤面用プライマーⅡ （2液形エポキシエマルション塗料） ※個別のカタログをご参照ください。

カラーバリエーション

F-10
フォレストグリーンF-11
グラスグリーンF-12
アーモンドグリーンF-14
レンガF-16
ライトブラウンF-17
サンドベージュF-19
モスグレーF-20
フレッシュグリーンF-21
ライトグレーF-22
キャラメルベージュF-23
リーフグリーンF-24
ブルーグレー

ライン用白



ライン用黄色

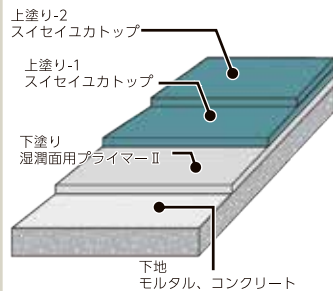


* この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。色相はシントーフローアシリーズカラーカードをご覧ください。
* その他ご指定の色に調色することも可能です。

標準塗装仕様

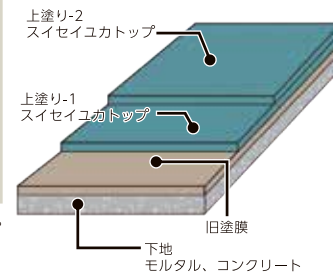
1. 新設・既設コンクリート・モルタル面

工程	使用塗料 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	工程間隔 (20℃)	塗布方法
下地調整	・ コンクリート、モルタル面の表面含水率10%以下 (ケツト科学研究所製CH-2)、または5% (ケツト科学研究所製HI-500シリーズ) で、アルカリ度はpH10以下を確認する。 ・ 全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレッセンス、脆弱下地 (レイタンス)、突起物、浮き部分を除去する。 ・ 付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナー等を用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 ・ ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 ・ 下地の凸部分は除去し、凹部、ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修する。					
下塗り	湿潤面用プライマーⅡ (水道水)	10~15	0.12~0.15	1	3時間以上 7日以内	刷毛 中毛ローラー
上塗り	スイセイユカトップ (水道水)	0~5	0.12~0.15	2	2時間以上 (歩行可能)	刷毛 中毛ローラー



2. 塗替え (アクリル塗り床材が塗られている床面の場合)

工程	使用塗料 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	工程間隔 (20℃)	塗布方法
下地調整	・ 付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナー等を用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 ・ ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 ・ 下地の凸部分は除去し、凹部、ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修する。					
上塗り	スイセイユカトップ (水道水)	0~5	0.12~0.15	1~2	2時間以上 (歩行可能)	刷毛 中毛ローラー



- エポキシ、ウレタンの塗り床材が塗られている床面の塗替えの場合は、旧塗膜全面をサンダー、ポリッシャー等で目粗ししてください。目粗しが不足しますと**はがれ**の原因となります。目粗し処理が十分に行えない場合は、下塗りとして湿潤面用プライマーⅡを塗装することを推奨します。
- 下地の状態により、塗布量は増減することがあります。
- 施工中、乾燥中は室内換気を十分に行ってください。
- 防滑仕上げはできません。

塗重ね可能時間 (工程間隔)

気温	5~10℃	10~20℃	20℃以上
スイセイユカトップ	4時間以上	3時間以上	2時間以上
湿潤面用プライマーⅡ	48時間以上	16時間以上	3時間以上

塗膜性能

項目	性能	条件
光沢	85	鏡面光沢度 (60度)
硬度	H	鉛筆硬度

※ 養生期間7日間での各物性結果を示します。数値は代表値であり、保証値ではありません。

注意事項

■施工上の注意事項

1. 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。やむを得ず低温時に塗装するときは採暖対策が必要です。
2. 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
3. 結露が予測される場合は塗装を避けてください。(特に早朝の結露、夕刻の降露には注意してください。)
4. フックス等が施工されていないか確認してください。施工されている場合は、専用剥離剤で除去し、水洗いを行って十分に乾燥させてください。
5. 付着しているグリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて除去し、水洗いを行って十分に乾燥させてください。
6. 下地の凸部分は研磨機等で除去し、凹部、ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修してください。
7. コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下(ケツト科学研究所製CH-2)または5%以下(ケツト科学研究所製HI500シリーズ)で、下地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。(打設後養生期間の目安はコンクリートの場合1か月以上、モルタルの場合夏期で14日以上、冬期で21日以上です。)
8. 研削機などを使用する際には、騒音や粉じん対策を十分に行ってください。
9. 軽重コンクリートへの塗装は避けてください。
10. 特殊コンクリート(カラーコンクリート、フェロコン、浸透型表面強化剤で処理されたコンクリート等)への施工は、下地調整としてライナックス研磨機等により表面目粗しを行い、下塗りとして湿潤面用プライマーⅡを塗布してください。
11. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。

■取扱いに関する注意

1. 塗料取り扱いの際は換気を十分に行ってください。
2. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないようご注意ください。
3. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
4. 容器の蓋を開ける際には、缶の内圧が上がっている場合があります。開缶時は十分に気を付けてください。
5. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちにご使用ください。
6. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
7. さび缶に小分けするときは、十分にき混ぜたものを小分けし、使用するさび缶はきれいなものを用いてください。
8. 塗料取り扱い後および塗装作業後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
9. 使用した塗装用具は、直ちにラッカーシンナー等で洗浄してください。

10. 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また未開封の塗料缶は、直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

■塗装に関わる注意事項

1. 希釈率、工程間隔などは、規定の数値を厳守してください。
2. 塗装時および乾燥中は十分に換気を行ってください。
3. 仕様に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅を生じる場合があります。
4. 冬期や低温時、湿潤面用プライマーⅡが養生乾燥が不十分だった場合、上塗り塗膜に**ひび割れ発生するおそれがあります。**上表の塗重ね可能時間を厳守して塗装してください。
5. 標準塗布量以上の厚塗りは避けてください。一度に厚塗りをした場合、乾燥不良や塗膜ひび割れなどを生じます。
6. 濃赤黄色系色相の場合、隠ぺい不足により上塗り工程が増える場合があります。上塗り1回目の工程の色相に白または共色を用いることを推奨します。
7. 軽歩行は最終塗装後2時間(20℃)から可能ですが、早期解放は塗膜粘着、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じる恐れがあるため、重量物等通行開放までの養生時間は24時間以上あけてください。

■緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。
6. 万が一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。

■廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。
(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS) を参照ください。
※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング



神東塗料

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123) 32-0431 FAX(0123) 34-6199

東北 ☎(022) 353-6951 FAX(022) 353-6952

東京 ☎(03) 5690-0544 FAX(03) 5690-0553

静岡 ☎(054) 245-0135 FAX(054) 247-4091

北陸 ☎(076) 262-1305 FAX(076) 262-1315

名古屋 ☎(052) 612-0293 FAX(052) 612-0318

大阪 ☎(06) 6426-3763 FAX(06) 6429-6268

中国 ☎(082) 264-6822 FAX(082) 264-6821

四国 ☎(0897) 65-4550 FAX(0897) 65-4576

九州 ☎(092) 472-2222 FAX(092) 473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。

本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

☎(06) 6426-3355(代) FAX(06) 6429-6188(代)